

(株)山本製作所(東根市)、(株)渡会電気土木(鶴岡市)
アフリカでの SDGs ビジネス展開に向けて始動
～中小企業・SDGs ビジネス支援事業として JICA が採択・支援を決定～

「信頼で世界をつなぐ」をビジョンに掲げ、日本の政府開発援助（ODA）の実施機関として開発途上国への国際協力を行っている独立行政法人国際協力機構（理事長：田中明彦、本部所在地：東京都千代田区、以下：JICA）は、企業が有する優れた技術や製品・アイデアを用いて、途上国が抱える課題解決および日本企業の海外展開を目指す「中小企業・SDGs ビジネス支援事業」の2023年度公示にて、山形県内企業2社の提案事業を採択しました。

●株式会社山本製作所（代表取締役：山本丈実、所在地：山形県東根市）

テーマ「アフリカ地域 循環型乾燥機・石抜機をコアとしたポスト・ハーベスト機械のニーズ確認調査」（仮）

●株式会社渡会電気土木（代表取締役：丹治真彦、本社所在地：山形県鶴岡市）

テーマ「アフリカ地域 電気も水源もない場所で空気から飲料水を作る製水装置ニーズ確認調査」（仮）

今後、契約交渉を経て契約締結後、山本製作所、渡会電気土木と JICA 東北が連携し、アフリカ地域における SDGs ビジネス展開に向けたニーズ確認調査を行います。

◇株式会社山本製作所の取り組み

米は長期保存のため収穫後の乾燥調製が必要ですが、アフリカなど途上国では機械化が遅れているため、適切な乾燥調製ができずに米を腐敗させてしまい、その結果多くの米が貯蔵段階で廃棄されてしまうなど多大なロスが発生しています。山本製作所は、アジアでの成果実績をもとに開発した循環型乾燥機や石抜機をアフリカに導入することで、適切な乾燥による米の品質向上や収穫後ロスの低減、品質向上に貢献することを目指します。なお、本事業には山形銀行が調査団として参画します。

◇株式会社渡会電気土木の取り組み

ユニセフと世界保健機関（WHO）の報告書によれば、世界では約22億人が家庭で安全に管理された飲料水を手に入れることができず、特にアフリカではその割合が高いことが分かっています。渡会電気土木が提案する、電気も水源もない場所で空気から安心・安全でおいしい飲料水を大量に作る製水装置をアフリカに導入することで、安全な水へのアクセスが容易になり、健康改善や、水汲み労働からの解放による女性の社会進出や子どもの学習機会増大に貢献することを目指します。なお、本事業には庄内銀行が調査団として参画します。

本件に関して、山本製作所、渡会電気土木へのインタビューが可能ですので、是非取材をご検討ください。取材をご希望の場合は、JICA 東北 市民参加協力課 担当：増田・吉岡（TEL:022-223-4772、e-mail：thicjpp@jica.go.jp）までお問い合わせいただければ幸いです。

◇中小企業・SDGs ビジネス支援事業とは

中小企業・SDGs ビジネス支援事業は、企業が有する優れた技術や製品、アイデアを用いて、途上国が抱える課題の解決と、日本企業の海外展開、ひいては日本経済の活性化も兼ねて実現することを目指すものです。全国の企業に広く活用していただくことで、各地の地域経済活性化にも役立つことが期待されます。

今回の 2023 年度公示では、全国で 68 件、東北地域では 5 件が採択されました。

【参考】

中小企業・SDGs ビジネス支援事業とは

https://www.jica.go.jp/priv_partner/activities/index.html

2023 年度公示の採択結果について

https://www.jica.go.jp/information/press/2023/1527096_25245.html



【本件に関する問い合わせ先】

JICA 東北 市民参加協力課 担当：増田・吉岡

TEL:022-223-4772 FAX:022-227-3090

e-mail：thicjpp@jica.go.jp

～本ビジネスが達成に貢献する SDGs～

